

私の息子は、四川飯店の創業者「陳建民」とその息子「陳建一」そして叔父貴分の「杜 栄」さんとは大変仲良しで、我が社が毎年開催する展示会に必ずやって来て、会場を盛り上げてくれます。

余談ですが、ゴルフはその人の性格を現すと言いますが、陳建一氏のゴルフはプロ並みで、高い弾道、やわらかいボール、それで距離が良く出るというすばらしいゴルフです。

今年も7月29日、千葉駅前のパルルで開催した会場へ、彼は持ち前のニコニコした笑顔で登場してくれました。彼の人気もあって、会場へは600人を超える人達が集まって、和やか、且つ賑やかな会場になりました。

陳建一氏は「私はたくさんの人達に料理を作り、食べて頂いております。いつもお客様から美味しいと言われる様に努めております。しかし料理というものは、まったく同じ材料を使っても、その日の体調、疲れで同じものは出来ない場合があります。私はプロですから、どうこれを克服するかは、精一杯心を込めることでお客様に満足していただける様に努力いたしております。味というもの、旨味というものは、レシピやデータで出来るものではありません。何度も、何度も繰り返して修行することから生まれるものです。そして修行するという技術も大切ですが、先ず職場でお客様に挨拶が出来なければなりません。常に感謝と微笑を持ってお客様に接することが大切です。」と・・・。

そして、扇に「衣食伝愛 陳建一」と書いてくれました。

まさに、医食同源、衣食伝愛は食の心であります。